



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和6年10月16日(水)

国道7号能代バイパス

木製防護柵塗装イベント開催 編

国道7号能代バイパスの能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間に、木製防護柵が設置されています。木製防護柵は設置から12年が経過し塗装がはがれてきています。そのため、8年前から耐久性向上と景観美化を目的に、ボランティアの手で防護柵を塗り替える塗装イベントを始めました。

7度目の開催である今回は、一般参加のボランティアの方の他に、能代市立南中学校1年生の生徒54人が今年度も参加してくださいました。

現地塗装前の10月10日には、塗装イベントに向けて少しでも木材についての知識を深めてもらおうと、木材高度加工研究所の渡辺先生による事前授業を実施しました。

イベント当日は、能代市南陽崎の黒松ハウス前に集合し、集合が早かったことから予定時間を早めて開会式を行いました。開会式では、能代河川国道事務所の大久保副所長の挨拶の後、塗装の作業説明・注意事項を確認し、集合写真を撮影した後に各担当の防護柵塗装箇所へと移動して塗装を開始しました。

作業は防護柵についている汚れを布できれいに拭き取り、防腐や防カビ・害虫予防効果がある木材保護塗料を使い、担当の塗装範囲を丁寧に塗り進めます。今回は塗装範囲が広がったため、時間内に塗装が終わらない箇所も少し見られました。塗装は歩道側を生徒、道路側は大人のボランティアが担当し、能代国道維持出張所の職員による巡視を行っていただきながら安全に作業することが出来ました。

夜中には雨が降り天候が心配されましたが、昼前から徐々に晴れ、塗装時には秋晴れの穏やかな天候の下、無事に塗装を終えることができました。

塗装終了後は黒松ハウスに戻り閉会式を行い、国道7号を管理している能代国道維持出張所の出川所長から講評をいただき、その後、参加の記念として国道7号のマークが入ったコースターを1人1枚ずつもらい解散となりました。

来年度以降もこの取り組みを続け、美しい町並みを保っていききたいですね。

文：成田 和幸



事前授業では生徒達はタブレットで写真を撮ったりメモをしたりしていました(上)。作業開始前に記念撮影をおこないました(下)。



日ざしもあまり強くなく、風がそよぐ絶好の塗装日よりとなりました。各班ごとに割り当てられたエリアを塗装していきます(上、中)。参加記念品の秋田スギのコースターは木目も色味もみな異なります。裏表を見比べたり、においをかいてお気に入りを選んでいただきました(下)。